

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ラボデミSTEAM		
○保護者評価実施期間	R8年3月1日		R8年3月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	R8年3月1日		R8年3月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	R8年3月1日		R8年3月20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 0
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご利用者の方の状況や決定事項や情報共有の密度。	職員共有連絡ツールLINE WORKSを活用して共有することで、各々の職員が情報の把握できるようにしている。	日々の療育の内容につなぐことができるように、定期的に情報共有ができる機会を設けることができるよう日程調整をし、よりよい療育を提供する。
2	学校、事業所、相談支援事業所など、それぞれの状況を共有し、支援内容を合わせて提供できる環境を設定している。	都度、担任や主任と連携しながら実施している。サービス提供記録やLINEを活用して家族等がいつでも確認できるような体制で実施している。	今後、訪問・電話以外で連携をとれるツールの確保、運用を検討していきたい。
3	保護者の方との連絡、対応、情報共有を密に実施する環境がある。	療育後のフィードバックや、帰りの送迎時に確認し、実施している。電話や訪問時に都度目的などを説明して実施している。視覚的に誰でも理解しやすいように伝える工夫をしたり、直接のお伝え、電話等を活用して安心していただけるようにしている。	連携先の状況・思い・支援の内容の調整の共有をし、保護者へ伝えることができる環境を作っていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	サービス需要が高く、提供するにあたり、待ちが出ている現状。	人材育成、人員の確保、訪問を主軸とする職員が不足。	訪問が主となる職員の確保、育成の実施。
2			
3			